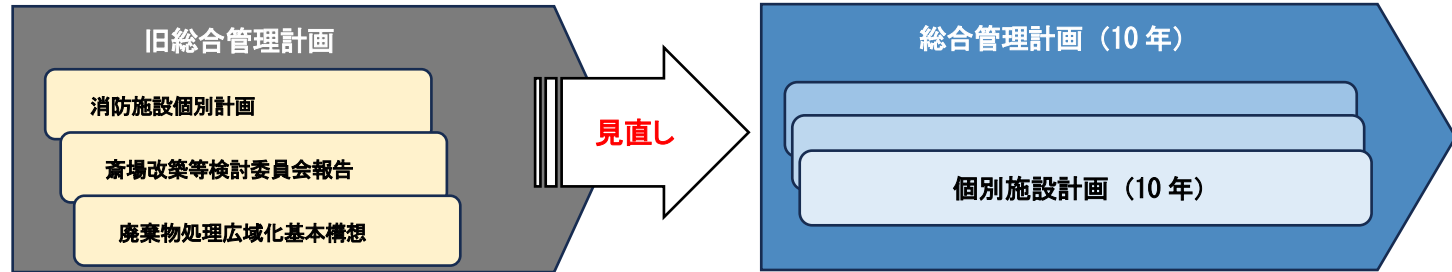




大曲仙北広域市町村圏組合 公共施設等総合管理計画 <概要版>

1. 計画の位置づけ及び計画期間

これまでの消防施設整備計画、斎場改築等検討委員会報告、廃棄物処理広域化基本構想との整合を図りながら、消防施設個別計画の見直し及び保健衛生施設個別施設計画の策定を行い、令和6年度から15年度までの10年間を計画期間として改めて総合管理計画を策定



2. 計画策定の基本方針

公共施設の老朽化
保健衛生施設は昭和50年代後半に建設された施設の老朽化が進み、消防施設は有形固定資産減価償却率が70%を超える施設が増えており、今後の人口動態等を考慮し、必要性を精査した上で、今後のあり方を検討する必要がある
少子高齢化の進行と人口減少によるニーズの変化
令和2年の高齢化率39.6%が令和22年には50.4%と今後大幅に進むと予想される少子高齢化に伴う世代構成の変化に応じた施設規模の見直しを行い、公共施設へのニーズに適切に対応する必要がある
一部事務組合としての施設管理と経費の財源の限界
構成市町の生産年齢人口の減少等による税収減などに伴い、これまでどおり構成市町負担金を求めることが困難となる可能性があり、施設の整備更新や維持管理に支出できる財源には限界があることを前提に、今後のあり方を検討する必要がある

3. 長寿命化の方針

基本① 長寿命化の推進
施設の役割や機能、特性に応じた対策方法や優先順位の決定を行い、重大な損壊が生じる前に予防的修繕を実施することにより、長寿命化を図ることで更新需要を分散する
基本② 保有施設総量の縮減
公共サービス機能を維持する方策を講じながら、個別施設計画に基づき、優先度の低い施設は統廃合や業務委託等により保有施設の総量の縮減に取り組む
基本③ 民間のノウハウの活用
民間に任せた方がコスト削減やサービスの向上に繋がる可能性の有無の観点についても検討し、有利な場合には民間のノウハウの更なる活用を進める
管理整備① 点検・診断等の実施
施設ごとに劣化や損傷等の進行が異なることから、各施設の特性を考慮した上で、日々の機器運転・維持管理の中で常に機械設備の状態を把握し、早期に点検・診断を行い、安定稼働に努める
管理整備② 維持管理・修繕・更新等の考え方
機器の点検・診断データをもとに、早期に故障・不具合の原因を精査し、単に現状復旧するだけでなく、再発防止・延命化のための対策も考慮した維持補修計画を立て、予防安全の観点から機器の点検整備・更新等を行う
管理整備③ 統廃合の推進
広域的な対応も視野に入れて、各施設の統合や他の機能施設への転換及び廃止も含め、施設総量の適正化、維持管理コストを意識しながら施設の配置や規模等を一体的に検討する
管理整備④ ユニバーサルデザインへの配慮
施設の改修や更新の際には、高齢者や障がい者等のみならず、乳幼児や小さな子どもを連れている人、外国人など、全ての利用者にとって分かりやすく使いやすいユニバーサルデザインに対応した施設整備に取り組む

4. 対象施設とその状況

区分			建築年度	延床面積 (㎡)	耐用年数	経過年数	老朽化率	有形固定資産 減価償却率
保健衛生施設								50.3%
	へい獣保冷センター		S58 (1983)	49.67	20	40	200.0%	100.0%
	火葬場							
	中央斎場		H27 (2015)	1,463.44	50	9	18.0%	17.7%
	南部斎場		R6 (2024)	881.55	50	0	—	—
	北部斎場		S59 (1984)	347.11	50	39	78.0%	73.2%
	一般廃棄物処理施設							
	中央ごみ処理センター		H14 (2002)	17,143.74	35	21	60.0%	53.2%
	北部ごみ処理センター		H10 (1998)	6,254.62	35	25	71.4%	67.2%
	中央し尿処理センター		S60 (1985)	6,067.13	35	38	108.6%	51.6%
	北部し尿処理センター		H21 (2009)	2,816.83	35	14	40.0%	37.8%
	南外一般廃棄物最終処分場		H20 (2008)	6,823.46	35	15	42.9%	51.7%
	角館一般廃棄物最終処分場		H13 (2001)	1,058.18	35	22	62.9%	59.4%
	田沢湖一般廃棄物最終処分場		H14 (2002)	449.06	35	21	60.0%	56.7%
西木一般廃棄物最終処分場		H13 (2001)	780.30	35	22	62.9%	59.4%	
消防施設								26.0%
	消防本部・大曲消防署				38	5	13.2%	15.3%
	庁舎・訓練棟・資材倉庫		H30 (2018)	4,557.59				
	東分署				38	22	57.9%	44.6%
	庁舎・訓練棟		H13 (2001)	516.22				
	南分署				38	19	50.0%	30.0%
	庁舎		H16 (2004)	604.46				
	西分署				38	15	39.5%	31.6%
	庁舎・訓練棟		H20 (2008)	785.12				
	西仙北分署				24	25	104.2%	67.4%
	庁舎		H10 (1998)	356.35				
	協和分署				24	32	133.3%	70.8%
	庁舎		H3 (1991)	345.32				
	角館消防署				50	32	64.0%	40.0%
	庁舎・訓練棟		H3 (1991)	851.49				
	田沢湖分署				24	30	125.0%	84.5%
	庁舎		H5 (1993)	410.81				
	中仙分署				24	30	125.0%	77.4%
	庁舎		H5 (1993)	348.79				
	西木分署				24	28	116.7%	82.5%
庁舎		H7 (1995)	329.26					
総計				53,240.50			44.0%	

※老朽化率 = 経過年数 ÷ 耐用年数 × 100 有形固定資産減価償却率 = 減価償却累計額 ÷ (簿価 + 減価償却累計額) × 100

※令和6年3月31日時点の固定資産台帳情報による減価償却率の試算のため、改築中だった南部斎場は除外

決算年度	有形固定資産減価償却率	増減	状況
令和元年度 (R2.3.31)	34.87%	—	直近3カ年では、毎年度2.5%前後で老朽化が進んでおり、有形固定資産の更新等においては、これまで以上に行政サービスの必要性和資金調達方法の工夫について検討していく必要がある。
令和2年度 (R3.3.31)	37.42%	+2.55%	
令和3年度 (R4.3.31)	39.72%	+2.30%	
令和4年度 (R5.3.31)	42.29%	+2.57%	

5. 今後の改修等スケジュール

施設名	方向性	行動計画	管理方法	説明	今後のスケジュール									
					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
中央斎場	存続	現状維持	直営	定期的な外装補修										
南部斎場	存続	現状維持	直営	築後間もない（R6 年 5 月 新施設供用開始）										
北部斎場	存続	大規模改修	直営	R7 年度に大規模改修工事を施工		改修								
へい獣保冷センター	存続	更新	直営	R10 年度に建替工事を施工					更新					
中央ごみ処理センター	存続	大規模改修	長期包括 運営委託	R7 年度から R10 年度までごみ処理センターの基幹的設備改良工事を施工 R11 年度から R12 年度までリサイクルプラザの基幹的設備改良工事を施工		改修	改修	改修	改修	改修	改修			受入
中央し尿処理センター	存続	更新	長期包括 運営委託	R4 年度から R6 年度にかけて新施設建設工事を施工し、R7 年度から R8 年度にかけて旧施設解体工事を施工	更新	（解体）	（解体）							
北部ごみ処理センター	廃止	除却	—	R15 年度に休止（廃止）しその後は中央ごみ処理センターで受入										廃止
北部し尿処理センター	存続	大規模改修	長期包括 運営委託	R13 年度から R14 年度まで基幹的設備改良工事を施工								改修	改修	
南外一般廃棄物最終処分場	存続	現状維持	長期包括 運営委託	民間処分場への搬出と今後北部三処理場への搬出により延命化										
角館一般廃棄物最終処分場	存続	現状維持	長期包括 運営委託	各最終処分場の年間埋立量及び埋立残余量から相互融通による廃棄物搬入受入について優先順位等の検討が必要 【埋立終了見込み年度】 南外：R16 年度 角館 ：R32 年度 西木：R12 年度 田沢湖：R95 年度										
西木一般廃棄物最終処分場	廃止	除却	—								廃止			
田沢湖一般廃棄物最終処分場	存続	現状維持	長期包括 運営委託											
消防本部・大曲消防署	存続	現状維持	直営	築後間もない（H30 年 5 月 新庁舎供用開始）										
大曲消防署南分署	存続	大規模改修	直営	築後 25 年目に長寿命化改修						改修				
大曲消防署東分署	存続	大規模改修	直営	築後 25 年目に長寿命化改修			改修							
大曲消防署西分署	存続	大規模改修	直営	築後 25 年目に長寿命化改修	補修									改修
大曲消防署西仙北分署	存続	現状維持	直営	築後 41 年目に更新										
大曲消防署協和分署	存続	更新	直営	築後 40 年目に更新								更新		
角館消防署	存続	現状維持	直営	築後 60 年目に更新										
角館消防署田沢湖分署	存続	更新	直営	築後 40 年目に更新										更新
角館消防署中仙分署	存続	現状維持	直営	築後 41 年目に更新										
角館消防署西木分署	存続	現状維持	直営	築後 42 年目に更新										

◇施設の方向性等の説明

方向性	行動計画	説明	行動計画	説明	方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約	廃止	民間移譲	民間事業者等へ譲渡（売却、貸与等）
	大規模改修	長寿命化等のため、建物を全面的に改修	広域化	他自治体と施設を共用し、コストを分担		転用	施設機能を廃止し、多用途へ転用
	一部改修	長寿命化等のため、建物の一部を改修	更新	老朽化等のため、建物を更新		地域移管	利用が地域に限定されている場合、地域へ移管
	多機能化	分類の違う別の目的の施設の機能を取り入れる				除却（廃止）	施設を解体、除却し、機能も廃止

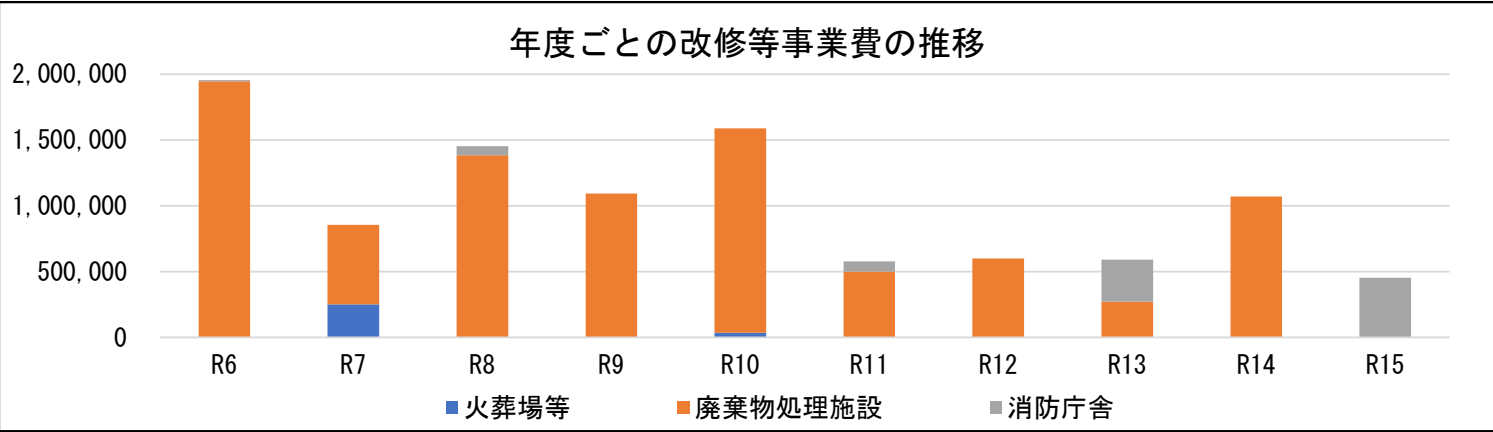
◇施設の管理方法の説明

管理方法	説明	管理方法	説明
直営	組合の直営 （個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む）	指定管理	指定管理者による管理運営方式
		民間委託 長期包括運営委託	施設の運営を長期間かつ包括的に委託する方式
		P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

6. 改修等の事業費と財源

施設名	事業年度	事業費 (千円)	事業内容	財源 (千円)
北部斎場	R7	251,539	大規模改修工事	一般財源 (251,539)
へい獣保冷センター	R10	34,769	建替工事	一般財源 (34,769)
中央し尿処理センター	R6	1,947,076	新施設建設工事	国庫補助 (374,568) 一般財源 (1,572,619)
	R7	537,099	旧施設解体工事	組合債 (537,000) 一般財源 (99)
	R8	363,299		組合債 (363,200) 一般財源 (99)
中央ごみ処理センター	R7	66,798	基幹的設備改良工事 ※R7～R10 はごみ処理センター R11～R12 はリサイクルプラザ	国庫補助 (16,233) 一般財源 (50,565)
	R8	1,020,460		国庫補助 (248,366) 一般財源 (772,094)
	R9	1,092,592		国庫補助 (266,033) 一般財源 (826,559)
	R10	1,555,119		国庫補助 (379,366) 一般財源 (1,175,753)
	R11	500,000		一般財源 (500,000)
	R12	600,000		一般財源 (600,000)
北部し尿処理センター	R13	270,600	基幹的設備改良工事	国庫補助 (88,000) 一般財源 (182,600)
	R14	1,071,400		国庫補助 (357,000) 一般財源 (714,400)
大曲消防署西分署	R6	8,096	屋根塗装防水工事	一般財源 (8,096)
大曲消防署東分署	R8	69,690	大規模改修工事	一般財源 (69,690)
大曲消防署南分署	R11	76,916	大規模改修工事	一般財源 (76,916)
大曲消防署協和分署	R13	321,300	移転建替工事	一般財源 (321,300)
大曲消防署西分署	R15	89,014	大規模改修工事	一般財源 (89,014)
角館消防署田沢湖分署	R15	364,500	建替工事	一般財源 (364,500)

※令和7年4月1日時点で予算化されているもの又は実績額が確定しているものは、その金額を計上



7. 維持管理・改修更新等に係る経費

維持管理費・改修更新費の推移

単位：千円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	過去3年間平均
維持管理費	1,419,077	1,623,765	1,767,524	1,603,455
改修更新費	351,391	259,621	266,098	292,370
合計	1,770,468	1,883,386	2,033,622	1,895,825

維持管理費：改修更新費を除いた経常的な施設運営に係る経費（廃棄物処理施設の長期包括運營業務委託経費含）
改修更新費：火葬場の設備等の更新や、消防庁舎の補修・指令センター改修などによるものが大半を占める

公共施設における将来更新費用の推計

単位：千円

10年間の経費の見込み						長寿命化対策等の効果額
長寿命化対策を講じた場合の見込み			耐用年数経過時に単純更新した場合の見込み			
維持管理費	改修更新費	合計	維持管理費	改修更新費	合計	
17,566,920	10,122,821	27,689,741	17,566,920	11,540,220	29,107,140	△ 1,417,399

※試算の条件
維持管理費：過去3年間の平均額×10年間から試算
改修更新費：「長寿命化対策を講じた場合の見込み」においては、「主要事業一覧（R6～15年度）」における大規模改修・改良工事費から試算、「耐用年数経過時に単純更新した場合の見込み」においては、既に耐用年数を超えているもの及び今後10年間で耐用年数が経過するもの全てを更新（未到達のものは計画どおり改修等を実施）した場合の経費を試算

8. フォローアップの実施

- 計画 計画の策定
- 実行 計画に基づく施設管理の実施
- 評価 計画の状況把握、課題の抽出
- 改善 評価を踏まえた改善策の検討、時期方針の決定

